

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	03	02
細事業名		不法投棄対策事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 不法投棄厳禁の地域づくり 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「排出者責任」の意識高揚と、不法投棄の減少。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民、事業者等を対象に、不法投棄防止啓発を行うとともに、行為者の摘発と適切な撤去指導を行った。また、京都府との協働事業による不法投棄防止ネットの設置、啓発用看板の作成を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) ・京都府との協働事業による不法投棄防止ネットの設置1ヶ所(久美浜町河梨)と、防止啓発標語の募集(久美浜小学校)。啓発用看板30枚作成。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	227	財源内訳	国庫支出金	
	12	194		府支出金	
	13	61		起債	
	14	7		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	489	
事業費合計		489	合計		489

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 不法投棄撲滅の特効薬はなく、今後も啓発活動の推進と行為者の摘発及び適切指導といった地道な取り組みが中心となる。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	C 事業縮小	理由 啓発等「防止策」を推進し、結果的に「不法投棄ゼロの地域」を実現することで事業は縮小したい。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	04	01
細事業名		狂犬病予防・動物管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 犬の所有者を対象として狂犬病の予防を毎年一回実施する。 事業の目的 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 動物愛護についての理解を深め、所有者等が動物を適正に飼養することで共生する存在として市民に広く受け入れられる社会づくりを目標とする。 平成26年度事業の効果目標 狂犬病予防対策強化(予防注射目標接種率100%)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 犬の所有者を対象として狂犬病予防注射を実施した。(2721頭中1914頭)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 狂犬病防止のため定期的な予防接種を実施し、発生抑制を図った。(予防注射摂取率70%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
予算科目	9	11	国庫支出金	
	11	80	府支出金	動物管理指導費補助 163
	12	190	起債	
	13	261	分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	379
事業費合計		542	合計	542

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由 狂犬病予防法に基づき狂犬病予防のため定期的な予防接種を実施したが、予防接種率70%にとどまる。飼い主の自覚と適正な飼い方について啓発を行った。公害防止、動物愛護のための看板を設置した。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 登録頭数の増加により、経費の削減は難しい。(H19年度登録数2644頭 H20年度登録数2683頭)また、予防接種率を上げるためには予防注射通知案内郵送は必要であり、経費の削減は難しい。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 狂犬病予防法に基づき、狂犬病発生を抑制するため、犬の登録・狂犬病予防注射の実施率の向上と正しい飼養方法の普及は必要である。予防接種率を70%から90%台へ向上を図る。
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 今後も狂犬病発生時の抑制を図るため、予防接種率の向上に努める。また、人とペットが共生できる生活環境を構築していくため、今後も飼い主などを対象として自主的な動物管理マナーの向上を図っていく。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	05	01
細事業名		堀川浄化施設維持管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	秦 祐康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 現在、久美浜町の堀川流域約65世帯分の生活排水が、堀川を通じ直接久美浜湾へ流入している。このため、水質浄化及び水辺環境整備を図るとともに、市民に対する生活排水対策推進への意識向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 堀川流域約65世帯分の生活排水の水質浄化及び環境整備の実施。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 久美浜湾の港湾部から上流約180mの範囲について、堀川へ流入する家庭雑排水を、取込管により本管へ導入し、浄化処理後、久美浜湾へ放流する併せて、周辺の環境保全も実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 堀川流域約65世帯分の生活排水の水質浄化及び環境整備の実施を行い、堀川の水質浄化に努めた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	415	国庫支出金		
	13	1,274	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,689
事業費合計		1,689	合計		1,689

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の適正な維持管理及び、当該集落の久美浜町西本町区により年2回、水路の清掃等を行っており、今後も引き続き水質浄化の実施及び継続を図る。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設の適正な維持管理及び、当該集落の久美浜町西本町区により年2回、水路の清掃等を行っており、今後も引き続き水質浄化の実施及び継続を図る。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	施設の適正な維持管理及び、当該集落の久美浜町西本町区により年2回、水路の清掃等を行っており、今後も引き続き水質浄化の実施及び継続を図る。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の適正な維持管理及び水路の清掃等による水質浄化を実施したことで、生活排水対策の推進が図られたと考え、継続的に実施していく必要があるため、経費削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の適正な維持管理及び水路の清掃等による水質浄化を実施したことで、生活排水対策の推進が図られたと考え、継続的に実施していく必要があるため、経費削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	施設の適正な維持管理及び水路の清掃等による水質浄化を実施したことで、生活排水対策の推進が図られたと考え、継続的に実施していく必要があるため、経費削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">下水道の整備により、周辺世帯が100%下水道へ接続できれば、当該施設は不要になるものと考えられるが、当面の間、本施設により水質浄化を行い、環境保全を図る。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	下水道の整備により、周辺世帯が100%下水道へ接続できれば、当該施設は不要になるものと考えられるが、当面の間、本施設により水質浄化を行い、環境保全を図る。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	下水道の整備により、周辺世帯が100%下水道へ接続できれば、当該施設は不要になるものと考えられるが、当面の間、本施設により水質浄化を行い、環境保全を図る。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度の久美浜町の堀川流域に下水道事業が完了し、26世帯が接続完了となった。家庭からの生活排水の流入は少し軽減されたが、引き続き下水への配管接続を推進することが必要である。今後も引き続き接続の普及を推進するとともに、本施設の維持管理について継続的に実施した。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	平成21年度の久美浜町の堀川流域に下水道事業が完了し、26世帯が接続完了となった。家庭からの生活排水の流入は少し軽減されたが、引き続き下水への配管接続を推進することが必要である。今後も引き続き接続の普及を推進するとともに、本施設の維持管理について継続的に実施した。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	平成21年度の久美浜町の堀川流域に下水道事業が完了し、26世帯が接続完了となった。家庭からの生活排水の流入は少し軽減されたが、引き続き下水への配管接続を推進することが必要である。今後も引き続き接続の普及を推進するとともに、本施設の維持管理について継続的に実施した。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	08	01	01
細事業名		公害対策事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 騒音、振動、悪臭、水質汚濁、大気汚染等の公害事象に対して、京都府との協力の下対策を講じる。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 各種測定等の継続と公害防止に対する市民の意識高揚。事後処理的な要素が強いが、発生した案件については適切な対策を講じる。また、予防啓発に力を入れることで発生の抑制を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民、事業者、観光客等を対象に市民、自治区、京都府等の協力の下公害防止及び苦情案件に対応した。公害苦情件数 33件
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 発生した案件については、適切な対策を講じることができた。公害苦情件数 33件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	20	財源内訳	国庫支出金	
	11	1		府支出金	
	12	16		起債	
	13	140		分担金・負担金	
	14	10		その他	
			一般財源	187	
事業費合計		187	合計		187

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 発生した案件については、適切な対策を講じることができた。 × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 水質検査、酸性雨測定等以外の経費については、事後処理的な要素の強い経費であるために削減は困難。 × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 今後も迅速・適切な対応を図るために必要である。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 理由 今後も予防啓発活動に力を入れることで発生を抑制することが必要である。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	08	01	01
細事業名		網野火葬場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火葬場施設を常に良好な状態にあるよう管理するとともに、効率的な運営を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) L型ダクト修繕、煙突修繕工事等を行い、施設の適切な維持管理が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	30	国庫支出金		
	7	2,454	府支出金		
	11	2,265	起債		
	12	83	分担金・負担金		
	13	1,072	その他	火葬場使用料	2,817
事業費合計		5,904	一般財源		3,087
			合計		5,904

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	09	04	01
細事業名		久美浜火葬場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火葬場施設を常に良好な状態にあるよう管理するとともに、効率的な運営を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 炉内耐火レンガ修繕を行い、施設の適切な維持管理が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	33	国庫支出金		
	7	2,053	府支出金		
	11	1,566	起債		
	12	119	分担金・負担金		
	13	1,026	その他	火葬場使用料	1,931
	27	25			
事業費合計		4,822	一般財源		2,891
			合計		4,822

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	09	05	01
細事業名		斎場建設計画推進事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	上田雅彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	市内に3箇所の火葬場があるが、いずれも老朽化しており、市民の利便性を考慮した火葬場の整備方針を早期に決定し、適した火葬場を設ける必要がある。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
新火葬場の供用開始	

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	市民代表から構成される火葬場整備検討委員会を設置して、火葬場整備検討委員会4回、小委員会6回を開催した。検討委員会では火葬場整備の方向について検討を行い検討結果を意見書として市長に提出した。意見書内容を尊重しながら、新火葬場1箇所新設などの基本方針を策定した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	基本方針の策定により、適地選定等次年度以降への具体的な取り組みにつなげることができる。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	404	財源内訳	国庫支出金	
	9	50		府支出金	
	12	4		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	458	
事業費合計		458	合計		458

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	総合計画の目標達成に現状維持は必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	今後、建設に向けて具体的事業の拡大が予想される。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	02	01
細事業名						

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	秦 祐康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	一般廃棄物の処理については、市町村での固有業務となっており「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に基づいて処理をする必要があるため、市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ)の家庭ごみの収集業務が円滑に行えるよう、民間業者へ委託する。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
市指定ごみ袋を利用し、ごみ排出者負担及び排出ルール(分別)の徹底を図る。	

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ)の家庭ごみの収集業務が円滑に行えるよう、民間業者へ委託した。又、市指定ごみ袋を利用することにより、ごみ排出者負担及び排出ルール(分別)の徹底を図った。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	市指定ごみ袋を利用し、ごみ排出者負担及び排出ルール(分別)の徹底を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	26,012	財源内訳	国庫支出金	
	12	7,483		府支出金	
	13	176,176		起債	
		分担金・負担金			
		その他			
				一般財源	209,671
				合計	209,671

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物の処理については、市町村の固有業務となっており「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に基づいて処理をする必要がある。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 市内から発生する可燃ごみ、不燃ごみ、ビン・缶一般廃棄物収集業務は継続的に実施していく必要がある。又、市内にアパート等の集団住宅ができた場合、ごみステーションの増加となり、収集委託業者の収集時間の増加及び収集経費の増加が発生するのが現状であるが、現状としている為、経費削減の余地はなかった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 一般廃棄物の処理については、市町村の固有業務であり、「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に基づいて処理をする必要があるため。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 市内から発生する一般廃棄物収集業務は継続的に実施していく必要があるため。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	03	01
細事業名		峰山クリーンセンター管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	堀江幹也

PLAN																
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>Ⅱ 環境循環都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>③ ごみ・廃棄物対策</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>1 ごみ処理・リサイクル体制の整備</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	Ⅱ 環境循環都市	計画項目 (施策)	③ ごみ・廃棄物対策	施策方針	1 ごみ処理・リサイクル体制の整備									
基本方針 (政策)	Ⅱ 環境循環都市															
計画項目 (施策)	③ ごみ・廃棄物対策															
施策方針	1 ごみ処理・リサイクル体制の整備															
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ、資源ごみ)を処理する。</td> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>市内全体からのごみ排出量 22,478t</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>焼却量目標値 16,975t</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>リサイクル率の向上 26.0%</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ、資源ごみ)を処理する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	市内全体からのごみ排出量 22,478t					焼却量目標値 16,975t					リサイクル率の向上 26.0%
(どのような目的で事業を実施するか)	市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ、資源ごみ)を処理する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	市内全体からのごみ排出量 22,478t												
				焼却量目標値 16,975t												
				リサイクル率の向上 26.0%												

DO							
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する一般廃棄物(可燃ごみ・資源ごみ)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。						
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) <table border="1"> <tr> <td>市内全体からのごみ排出量</td> <td>28,233t</td> </tr> <tr> <td>焼却実績量</td> <td>17,155t</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>18.4%</td> </tr> </table>	市内全体からのごみ排出量	28,233t	焼却実績量	17,155t	リサイクル率	18.4%
市内全体からのごみ排出量	28,233t						
焼却実績量	17,155t						
リサイクル率	18.4%						

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	55	国庫支出金		
	11	88,807	府支出金		
	12	728	起債		
	13	249,396	分担金・負担金		
	14	1,148	その他	ごみ処理手数料	32,459
	15	103,950		資源ごみ売払	17,597
	19	5,000		公有財産使用料	141
	27	592	一般財源		399,479
事業費合計		449,676	合計		449,676

CHECK						
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">毎年焼却量は、若干だが減少方向となっている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	毎年焼却量は、若干だが減少方向となっている。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	○ × 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			毎年焼却量は、若干だが減少方向となっている。	
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○ × 遅れている(できていない)						
評価	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	○ ▲ 少し削減の余地があった	○ × 削減の余地があった
	○ 削減の余地がなかった	理由			原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	
○ ▲ 少し削減の余地があった						
○ × 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	現施設の稼働予定年限は、平成28年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。
	B 現状維持		
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	04	01
細事業名		峰山最終処分場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	堀江幹也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備 3 不燃ごみ対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内(主に峰山町内)から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理する。 市内全体からのごみ排出量 22,478t 埋立目標値 4,520t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。さらに、平成21年10月1日から不燃ごみの発生抑制を行うため、不燃ごみの有料化を導入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全体からのごみ排出量 28,233t 埋立実績量 11,222t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む うち峰山最終処分場分 1,412t

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	4,301	国庫支出金		
	12	1,080	府支出金		
	13	8,330	起債		
	14	1,357	分担金・負担金		
	19	1,500	その他	ごみ処理手数料	2,642
				資源ごみ売払	1,518
			一般財源		12,408
事業費合計		16,568	合計		16,568

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 現施設の稼働予定年限は、平成27年度までとなり、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成27年度までとなり、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成27年度までとなり、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。					
B	B 内容の見直し						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。					
B	B 現状維持						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	05	01
細事業名		大宮最終処分場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	堀江幹也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備 3 不燃ごみ対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内(主に大宮町内)から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理する。 市内全体からのごみ排出量 22,478t 埋立目標値 4,520t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。さらに、平成21年10月1日から不燃ごみの発生抑制を行うため、不燃ごみの有料化を導入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全体からのごみ排出量 28,233t 埋立実績量 11,222t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む うち大宮最終処分場分 996t

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,520	国庫支出金		
	12	544	府支出金		
	13	7,919	起債		
	14	1,595	分担金・負担金		
	19	1,500	その他	ごみ処理手数料	5,835
	27	59		資源ごみ売払	710
事業費合計		15,137	一般財源		8,592
			合計		15,137

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 現施設の稼働予定年限は、平成35年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成35年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成35年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。					
B	B 内容の見直し						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。					
B	B 現状維持						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	06	01
細事業名	網野最終処分場管理運営事業					

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備 3 不燃ごみ対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内(主に網野・丹後・弥栄町内)から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理する。 市内全体からのごみ排出量 22,478t 埋立目標値 4,520t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。さらに、平成21年10月1日から不燃ごみの発生抑制を行うため、不燃ごみの有料化を導入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全体からのごみ排出量 28,233t 埋立実績量 11,222t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含む うち網野最終処分場分 7,617t

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	14,735	国庫支出金		
	12	1,016	府支出金		
	13	14,393	起債		
	14	1,201	分担金・負担金		
	15	14,983	その他	持込ごみ処理手数料	6,207
	19	5,000		資源ごみ売払	2,448
	27	47			
一般財源					42,720
事業費合計		51,375	合計		51,375

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	現施設の稼働予定年限は、平成28年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	市民・事業者・行政が一体となり、ごみの発生抑制・有効資源利用促進を図ることで、現施設の事業規模の現状維持に努める。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	07	01
細事業名		久美浜最終処分場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備 3 不燃ごみ対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内(主に久美浜町内)から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理する。 市内全体からのごみ排出量 22,478t 埋立目標値 4,520t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する一般廃棄物(不燃ごみ)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。さらに、平成21年10月1日から不燃ごみの発生抑制を行うため、不燃ごみの有料化を導入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全体からのごみ排出量 28,233t 埋立実績量 11,222t(4施設全体・峰山、大宮、網野、久美浜最終処分場)焼却灰含 うち久美浜最終処分場 7,617t

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	4,357	国庫支出金	
	12	748	府支出金	
	13	26,549	起債	
	14	1,008	分担金・負担金	
	19	1,500	その他	持込ごみ処理手数料 3,789
				資源ごみ売払 2,079
			一般財源	28,294
事業費合計		34,162	合計	34,162

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 一般廃棄物については、種類の多様化が進んでおり、その廃棄物を出る限り分別収集を行い、不燃ごみの減量化及を行っているが、未だ分別収集の徹底がされていない。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 原油高騰による薬品価格の変動、金属相場変動に伴う資源ごみ売払収入の増減等、不確定要素が多い。また、経年劣化に伴う施設の整備・修繕等維持管理コストは増加を見込まざるを得ない。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 現施設の稼働予定年限は、平成26年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成26年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 現施設の稼働予定年限は、平成26年度までとなっており、次期施設の検討また、事業内容の見直しも必要となる。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 市民・事業者・行政が一体となり、ごみの発生抑制・有効資源利用促進を図ることで、現施設の事業規模の現状維持に努める。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となり、ごみの発生抑制・有効資源利用促進を図ることで、現施設の事業規模の現状維持に努める。	B 現状維持
A 事業拡大	理由 市民・事業者・行政が一体となり、ごみの発生抑制・有効資源利用促進を図ることで、現施設の事業規模の現状維持に努める。			
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	02	08	01
細事業名		有害ごみ処理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	堀江幹也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 1 ごみ処理・リサイクル体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内から発生する有害ごみ(蛍光灯、乾電池)を処理する。 市内全体からのごみ排出量 22,478t 有害ごみ(蛍光灯・乾電池)目標値 45t
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内から発生する有害ごみ(蛍光灯、乾電池)を処理した。また、施設見学や出前講座を通じて、京丹後市のごみの現状、ごみ減量化及び有効資源の再利用などの大切さについて啓発を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全体からのごみ排出量 28,233t 有害ごみ(蛍光灯・乾電池)処理量 41t

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	302	財源内訳	国庫支出金	
	12	42		府支出金	
	13	3,819		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	4,163	
事業費合計		4,163	合計		4,163

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">有害ごみ(蛍光灯・乾電池)の分別は、定着してきている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	有害ごみ(蛍光灯・乾電池)の分別は、定着してきている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	有害ごみ(蛍光灯・乾電池)の分別は、定着してきている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">処理方法(先)を変更したことにより、例年よりも安価で処理処分が可能となった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	処理方法(先)を変更したことにより、例年よりも安価で処理処分が可能となった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	処理方法(先)を変更したことにより、例年よりも安価で処理処分が可能となった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	これまでどおり分別回収を行う。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	市民・事業者・行政が一体となりごみの発生抑制・有効資源の促進を行う必要がある。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	01	01
細事業名		防疫対策事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 2 ごみ減量化活動の促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市で地域防災計画の災害応急対策計画に基づく防疫対策及び害虫等の駆除に備えた事業を実施する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 災害時における浸出地域等その他防疫が必要な地域を対象とし消毒作業の支援、実施及び防疫機器の貸出しをすることにより、快適な生活環境の保全に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 備蓄品の補充 蜂駆除用防護服の貸出し 145回 煙霧消毒機の貸出し 22回 (消毒は大きな水害もなく市職員の作業はなかった。)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害時の迅速な対応のために備蓄品の充実

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	44	財源内訳	国庫支出金	
	12	9		府支出金	
	18	0		起債	
事業費合計		53	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		53
事業費合計		53	合計		53

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市域で発生する、衛生害虫や不快害虫の駆除に係る支援及び災害時の防疫作業が行えた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市域で発生する、衛生害虫や不快害虫の駆除に係る支援及び災害時の防疫作業が行えた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市域で発生する、衛生害虫や不快害虫の駆除に係る支援及び災害時の防疫作業が行えた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">衛生害虫、不快害虫の発生の有無によっては、若干の経費削減はできる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	衛生害虫、不快害虫の発生の有無によっては、若干の経費削減はできる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	衛生害虫、不快害虫の発生の有無によっては、若干の経費削減はできる。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	災害時に備え消毒作業が迅速に行えるよう適切な対応策が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
10-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	02	01	02	01
細事業名		リサイクル推進事業				

担当部署	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ③ ごみ・廃棄物対策 施策方針 2 ごみ減量化活動の促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民のごみ問題への社会意識の高揚及び再資源化、ごみ減量化の促進を図る。 市民のごみ問題への社会意識の高揚及び再資源化を図り、ごみ減量化の促進を進める。 古紙等の資源化をめざす。リサイクル率の向上(26.0%)
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 古紙回収団体が行う古紙回収事業に対し、回収実績に応じた補助金を交付した。また、弥栄リサイクルセンターに分別指導員を配置し、持込まれた資源ごみの適正な処理を行い、リサイクルを推進した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 古紙回収団体補助金申請数(延べ) 158件 古紙回収団体により回収された古紙の総重量 3,186,116kg リサイクル率 18.4%

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	24	国庫支出金		
	13	431	府支出金		
	19	15,931	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,386
事業費合計		16,386	合計		16,386

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民による古紙回収事業が行われ、ごみ問題への社会意識の高揚が進んでいる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民による古紙回収事業が行われ、ごみ問題への社会意識の高揚が進んでいる。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民による古紙回収事業が行われ、ごみ問題への社会意識の高揚が進んでいる。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">古紙類の再資源化を推進すれば、ごみ減量化につながるため削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	古紙類の再資源化を推進すれば、ごみ減量化につながるため削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	古紙類の再資源化を推進すれば、ごみ減量化につながるため削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	資源として再利用できる古紙等の廃棄物の回収活動を行う団体に対して支援することで、再資源化を図り、ごみの減量化など、市民のごみ問題や環境問題、循環型社会に対する意識啓発を行っていく。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	資源として再利用できる古紙等の廃棄物の回収活動を行う団体に対して支援することで、再資源化を図り、ごみの減量化など、市民のごみ問題や環境問題、循環型社会に対する意識啓発を行っていく。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
24-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	03	01	04	01
細事業名		郵便局サービス事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	田村美乃枝

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ② 協働と共創のまちづくりの推進 施策方針 6 協働と共創の仕組みづくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 郵便局との共創のまちづくり協定により、市民局から遠距離の地域における証明書の発行事務により身近な場所で利便性の高い市民サービスの提供を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか) 身近な場所にて利便性の高い行政サービス
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果を目指すか) 身近な場所にて利便性の高い行政サービス

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 4箇所の郵便局において、戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務 申請者数 527人 証明書発行数 戸籍 47件、住民票 211件、印鑑証明 388件 税証明 12件
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民局から遠距離の地域における市民サービスの提供

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	82	財源内訳	国庫支出金	
	12	460		府支出金	
	13	89		起債	
	14	1,827		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	2,458	
事業費合計		2,458	合計		2,458

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 住民サービスとして定着している。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 住民サービスとして定着している。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○	× 遅れている(できていない)
○	進捗している(できている)	理由 住民サービスとして定着している。						
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
○	× 遅れている(できていない)							
	3yp@yi							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 FAX機器を安全に稼働させ、証明書を発行するための維持、通信にかかる費用であり削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 FAX機器を安全に稼働させ、証明書を発行するための維持、通信にかかる費用であり削減の余地はなかった。	○	▲ 少し削減の余地があった	○	× 削減の余地があった
○	削減の余地がなかった	理由 FAX機器を安全に稼働させ、証明書を発行するための維持、通信にかかる費用であり削減の余地はなかった。						
○	▲ 少し削減の余地があった							
○	× 削減の余地があった							

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 住民サービスとして定着しているため継続が必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 郵便局の窓口での証明書発行は、郵便局職員と市民の直接、顔の見える窓口であるので、交付の安全性、申請者の安心感もあり、現状を維持し継続する。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
25-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	01	05	02
細事業名		人権啓発推進団体負担金				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	上田雅彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナーシップ都市 計画項目 (施策) ③ 人権の尊重 施策方針 1 人権学習の推進 2 人権啓発の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 各人権啓発推進団体等の活動を支援するために負担金を交付する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 人権啓発の推進活動を行う団体、京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合への負担金の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 人権啓発推進団体への負担金を原資に、各加盟団体の自発的な啓発活動が活動が推進されている。 京都府住宅新築資金等貸付事業の着実な償還が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,330	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,330
事業費合計		1,330	合計		1,330

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 事業の効果は確認できないが、団体活動は確実に実施されている。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の負担金額であり、削減の余地はなかった。	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A A 現状維持	理由 人権啓発の推進に対して、市自らが支援し、継続的に取り組む姿勢を見せることが必要
	B B 内容の見直し	
	C C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B A 事業拡大	理由 人権啓発の推進に対して、市自らが支援し、継続的に取り組む姿勢を見せることが必要
B B 現状維持		
C C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
25-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	01	07	01
細事業名		法律相談事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	岸本裕子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナーシップ都市 計画項目 (施策) ③ 人権の尊重 施策方針 3 人権尊重の総合行政の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 日常生活で発生する市民の悩みの法的解決を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都弁護士会に弁護士派遣を委託し、各町会場を設定して市民を対象に人権相談、行政相談と併せて年間6回の無料法律相談を実施した。また、北部法律相談センター(大宮相談所・宮津相談所)の運営補助金を京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町の2市2町で負担した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民無料法律相談6回、テレビ電話無料法律相談4回開設、相談者数55人 北部法律相談センター(宮津、大宮)で、市内から148人の利用者があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	13	432	財源内訳	国庫支出金	
	14	8		府支出金	
	19	530		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	970	
事業費合計		970	合計		970

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民無料法律相談6回、テレビ電話無料法律相談4回開設、相談者数55人 北部法律相談センター(宮津、大宮)で、市内から148人の利用者があった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民無料法律相談6回、テレビ電話無料法律相談4回開設、相談者数55人 北部法律相談センター(宮津、大宮)で、市内から148人の利用者があった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民無料法律相談6回、テレビ電話無料法律相談4回開設、相談者数55人 北部法律相談センター(宮津、大宮)で、市内から148人の利用者があった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京都弁護士会以外に府内に委託先は存在しない。負担金は京都府及び2市2町間で決定したものであり、特にコスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京都弁護士会以外に府内に委託先は存在しない。負担金は京都府及び2市2町間で決定したものであり、特にコスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	京都弁護士会以外に府内に委託先は存在しない。負担金は京都府及び2市2町間で決定したものであり、特にコスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	民間による法律事務所が、早急に増加するとは考えられない。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	市民ニーズ応えるためには現状維持は必要
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
25-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	01	07	02
細事業名		人権、行政相談事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	上田雅彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ③ 人権の尊重 施策方針 3 人権尊重の総合行政の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 日常生活で発生する市民の人権・行政・多重債務等に関する悩みの解決を図る。 事業の目的 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 大宮庁舎内に市民相談室を設置し、3人の専任相談員(嘱託)が年間を通じて、不特定の市民の来室・電話相談を受け、アドバイスを行った。H19年度から多重債務相談支援室を開設しており、専任相談員(職員2人)が弁護士事務所と連携した多重債務支援活動を21年度も継続して行った。また、京丹後人権擁護委員協議会・京丹後市保護司会への活動負担金や啓発のためのイベントに対する協力負担金を支出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民相談室242日開設、相談者数307人 多重債務相談支援室242日開設、相談者数199人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	7	1,401	国庫支出金		
	9	219	府支出金		
	11	19	起債		
	12	50	分担金・負担金		
	19	880	その他		
			一般財源		2,569
事業費合計		2,569	合計		2,569

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民相談室を242日開設し、307人の相談を受けた。 多重債務相談支援室を242日開設し、199人の相談を受けた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民相談室を242日開設し、307人の相談を受けた。 多重債務相談支援室を242日開設し、199人の相談を受けた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民相談室を242日開設し、307人の相談を受けた。 多重債務相談支援室を242日開設し、199人の相談を受けた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民相談・多重債務相談等市民ニーズに応えるために必要な経費であり、特にコスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民相談・多重債務相談等市民ニーズに応えるために必要な経費であり、特にコスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	市民相談・多重債務相談等市民ニーズに応えるために必要な経費であり、特にコスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	市民ニーズに応えるためには現状維持は必要
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	相談者のワンストップ化のために相談窓口の一元化、または相談窓口場所の移転が必要。(福祉事務所など)
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
26-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	01	08	01
細事業名		男女共同参画啓発事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	岸本裕子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ④ 男女共同参画の推進 施策方針 1 男女がともに参画するまちづくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 男女が互いにその人権を尊重し、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を目指す。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 男女共同参画セミナー開催回数の充実(10回) 女性団体ネットワーク加入団体の充実(20団体)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施策の基礎となる人権の尊重等に関する男女共同参画セミナー3回を開催した。またDVや離婚、女性特有の問題などに悩む女性の相談を受ける女性問題アドバイザーを育成するための講座を、専門業者に委託して開催した。その他各種研修参加旅費、研修参加に係る使用料及び負担金等の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 男女共同参画セミナーを共同実施することなどから、女性団体の連帯感が促進され、女性連絡協議会を発足することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	8	43	国庫支出金	
	9	222	府支出金	人権問題啓発事業補 80
	11	80	起債	
	13	290	分担金・負担金	
	14	13	その他	
	19	17		
			一般財源	585
事業費合計		665	合計	665

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 男女共同参画が進捗するには社会意識の醸成が必要であり、一般的に計画に対して少し遅れていると感じる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 男女共同参画が進捗するには社会意識の醸成が必要であり、一般的に計画に対して少し遅れていると感じる。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 男女共同参画が進捗するには社会意識の醸成が必要であり、一般的に計画に対して少し遅れていると感じる。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 事業の内容、集客の方法などに工夫の余地はある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 事業の内容、集客の方法などに工夫の余地はある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 事業の内容、集客の方法などに工夫の余地はある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市男女共同参画計画の中間見直しを実施し、今後の方向性を修正する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B	A 現状維持	理由 京丹後市男女共同参画計画の中間見直しを実施し、今後の方向性を修正する。		B 内容の見直し	
B	A 現状維持	理由 京丹後市男女共同参画計画の中間見直しを実施し、今後の方向性を修正する。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 男女共同参画が進捗するためには現状維持は必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 男女共同参画が進捗するためには現状維持は必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 男女共同参画が進捗するためには現状維持は必要である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
26-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	03	01	01	08	02
細事業名		女性相談事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	上田雅彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナーシップ都市 計画項目 (施策) ④ 男女共同参画の推進 施策方針 2 人権の尊重と、女性に対するあらゆる暴力の根絶
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 大きな社会問題・人権問題となってるDVやセクハラなど、女性が抱える様々な悩みや問題の解決を図るため、女性専門カウンセラーの相談窓口を設置する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 女性相談体制の充実(月4回)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) DVやセクハラなど女性が抱えるあらゆる悩みや問題について、専門業者に委託しフェミニストカウンセラーが相談を受ける女性相談を継続して行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 毎月2回、合計24回の相談日を開設し、述べ53人の相談を受けた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	8	財源内訳	国庫支出金	
	13	828		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
			一般財源	836	
事業費合計		836	合計		836

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">女性問題アドバイザー養成講座を継続中であるが、将来的に講座受講者の熟練状況により、専門業者に委託する女性相談と併せて月4回の相談機会を実現する計画である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	女性問題アドバイザー養成講座を継続中であるが、将来的に講座受講者の熟練状況により、専門業者に委託する女性相談と併せて月4回の相談機会を実現する計画である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			女性問題アドバイザー養成講座を継続中であるが、将来的に講座受講者の熟練状況により、専門業者に委託する女性相談と併せて月4回の相談機会を実現する計画である。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民ニーズにより現状程度の相談機会の確保は必要と考える。現委託業者以外に、カウンセラーを定期的に継続派遣できる業者は府内に無く、相談回数を増やせば経費も増加する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	市民ニーズにより現状程度の相談機会の確保は必要と考える。現委託業者以外に、カウンセラーを定期的に継続派遣できる業者は府内に無く、相談回数を増やせば経費も増加する。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			市民ニーズにより現状程度の相談機会の確保は必要と考える。現委託業者以外に、カウンセラーを定期的に継続派遣できる業者は府内に無く、相談回数を増やせば経費も増加する。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	総合計画の目標達成と市民ニーズにより、現状維持は必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	コストと効果の観点から、現状維持は必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	03	01	02	01
細事業名		戸籍電算化システム運用事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	田村美乃枝

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 戸籍は人の親族法上の身分関係を登録し、公証する制度であり、その記録を戸籍システムの運用により、届出記載、戸籍の証明書発行等を正確で効率的な事務と市民サービスを提供する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 戸籍システムの運用により、戸籍業務を正確・迅速・適切な事務処理を行うことにより、質の高い行政サービスを維持し継続する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 窓口での戸籍に係る事務について戸籍システムを運用し正確、迅速、適切な事が行なえた。 戸籍受理件数 1,815件 戸籍に係る証明書 28,840件
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安定したシステムの稼働により迅速、正確な戸籍事務処理が出来、住民サービスの向上に繋がっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	13	3,339	財源内訳	国庫支出金	
	14	7,676		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	11,015
				合計	11,015
	事業費合計			11,015	合計

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	戸籍システムを運用することで戸籍法に則った戸籍の記録、証明書発行等、迅速な処理、発行ができ、戸籍簿の保管管理面でも現況を維持しながら継続をする。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○ 削減の余地がなかった	理由	市民課、窓口業務でのシステム機器の配置は、戸籍の記載、証明書発行業務等操作状況も考慮した必要な機器台数であり、そのシステム機器の稼働にかかる経費の節減余地はなかった。
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	戸籍は人の親族法上の身分関係を登録し、公証する事務であるので戸籍法に基づき、戸籍システムを維持し、その事務を継続して達成しなければならない。
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大	理由	戸籍システムを運用し、戸籍事務の多様化の中、正確な事務処理を行ない質の高い行政サービスの向上につなげる。
	B 現状維持			
	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	03	01	03	01
細事業名		住民基本台帳ネットワーク運用事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	田村美乃枝

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 総務省の法令に従う事業で、住民基本台帳法に基づき、住民の利便の増進と国及び地方公共団体の行政の合理化に資するため、住民票コードを検索キーとして住民基本台帳をネットワーク化し、全国共通の本人確認ができるシステムとして市町村と都道府県が連携して構築している。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 住民基本ネットワークにより、全国共通の本人確認や住民異動処理の正確で迅速な事務が出来るとともに、住基カードの普及を図り、住民サービスの向上に繋げる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 住民基本ネットワークシステムの安定した稼働を維持するとともに、住基カード発行機器の更新により、カード発行業務の稼働維持、充実を図った。住基カード発行件数 178件、広域交付件数 12件 住民異動 1261件
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安定したシステムの稼働により全国共通の本人確認等の住民サービスの向上が保てた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	525	財源内訳	国庫支出金	
	12	0		府支出金	
	13	1,600		起債	
	18	1,372		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	3,497	
事業費合計		3,497	合計	3,497	

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 住民基本台帳法に基づき、住民基本ネットワークを運用することにより、本人確認、住民異動、また、法律で定める国の行政機関に本人確認の情報の提供を行い各種手続きの簡素化が図れている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 住民基本台帳法に基づき、住民基本ネットワークを運用することにより、本人確認、住民異動、また、法律で定める国の行政機関に本人確認の情報の提供を行い各種手続きの簡素化が図れている。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 住民基本台帳法に基づき、住民基本ネットワークを運用することにより、本人確認、住民異動、また、法律で定める国の行政機関に本人確認の情報の提供を行い各種手続きの簡素化が図れている。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 全国共通の事業実施のためのシステム機器の維持管理であり、削減の余地がない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 全国共通の事業実施のためのシステム機器の維持管理であり、削減の余地がない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 全国共通の事業実施のためのシステム機器の維持管理であり、削減の余地がない。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 住民基本ネットワークを利用した電子申請や各種手続きの簡素化の拡大が予想される中、市民が安心して同じサービスが受けられるよう継続する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 住民基本ネットワークを利用した電子申請や各種手続きの簡素化の拡大が予想される中、市民が安心して同じサービスが受けられるよう継続する。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 住民基本ネットワークを利用した電子申請や各種手続きの簡素化の拡大が予想される中、市民が安心して同じサービスが受けられるよう継続する。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 住民基本台帳カードの多目的利用、電子申請等利用の範囲の拡大が見込まれ、電子自治体の実現が見込まれる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 住民基本台帳カードの多目的利用、電子申請等利用の範囲の拡大が見込まれ、電子自治体の実現が見込まれる。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 住民基本台帳カードの多目的利用、電子申請等利用の範囲の拡大が見込まれ、電子自治体の実現が見込まれる。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						